

令和6年度第1回秦野市上下水道審議会(書面開催)の結果について

1 秦野市上下水道審議会の正副会長の選任について

会 長 茂庭 竹生 氏

副会長 松原 沙織 氏

(1) 賛成 15名

(2) 反対 0名

2 令和5年度秦野市水道事業会計決算について

(1) 意見等あり 2名

(2) 意見等なし 13名

3 令和5年度秦野市公共下水道事業会計決算について

(1) 意見等あり 2名

(2) 意見等なし 13名

4 その他

(1) 御意見

ア 意見等あり 3名

イ 意見等なし 12名

5 御意見への回答について

(1) 項目2 「令和5年度秦野市水道事業会計決算について」

御意見	秦野市の上下水道料金は、近隣他市と比較して安価であり、重要インフラ維持の観点から継続的な料金の見直しが必要と思われます。
回答	料金収入の減少や老朽化した施設の更新需要の増大という厳しい経営環境においても、生活インフラである上下水道施設を将来世代に引き継ぐため、令和3年に「はだの上下水道ビジョン」（計画期間：R3～12）を策定し、この計画に基づき、令和5年10月に料金改定（平均改定率7%）を実施しました。 水道事業については、施設の大量更新の時期に突入しており、上記計画では、令和9年度に再度改定を実施する計画としています。今後は、前期計画期間の検証や後期計画期間の推計の見直し等も踏まえながら、改定率等も含め料金の見直しを進めて行きます。

御意見	料金改定による効果が出てきていると思います。 一方、近年にみられる水災害に対して何らかの形で備えておく必要性を感じました。
回答	近年は記録的豪雨に見舞われる機会が多く、先日の台風10号の影響による大雨では被害がなかったものの、今後は、浸水想定区域内にある一部の取水場（井戸）は浸水する可能性があります。 被害想定の大い水無川下流域にある取水場については、災害時における、バックアップ水源としての県水を融通する運用により、水被害に対応できるものと考えております。

(2) 項目3 令和5年度秦野市公共下水道事業会計決算について

御意見	秦野市の上下水道料金は、近隣他市と比較して安価であり、重要インフラ維持の観点から継続的な料金の見直しが必要と思われます。
回答	使用料収入の減少や老朽化した施設の更新需要の増大という厳しい経営環境においても、生活インフラである上下水道施設を将来世代に引き継ぐため、令和3年に「はだの上下水道ビジョン」(計画期間：R3～12)を策定し、この計画に基づき、令和5年10月に使用料改定(平均改定率5%)を実施しました。 公共下水道事業においては、令和13年度から本格的な施設の更新時期を迎えますが、水道事業に比べ経営基盤が脆弱であることから、上記計画では、令和9年度に再度改定を実施する計画としています。今後は、前期計画期間の検証や後期計画期間の推計の見直し等も踏まえながら、改定率等も含め料金の見直しを進めて行きます。

御意見	料金改定による効果が出てきていると思います。 一方、近年にみられる水災害に対して何らかの形で備えておく必要性を感じました。
回答	水災害に対して、「上下水道業務継続計画(上下水道BCP)風水害編」を令和4年度に策定し、災害時の業務継続や早期復旧を図るための体制を構築しました。また、下水道施設が災害時にも一定レベルの下水道機能を発揮し続け、社会的影響を最小限に抑えられるよう、「下水道施設耐水化計画」に基づき、下水道施設の耐水化工事を進めています。

6 その他の御意見

- (1) 水道料金及び下水道使用料を改定した効果について、改定前の比較増減等により十分検証し、今後の業務の実践に活かしてください。

台風10号の降雨時の状況も、雨水管きょ整備スケジュールの検討にとって貴重なデータであると考えます。

- (2) 能登半島地震における水道管の耐震化の問題は当市でも重要課題と痛感しています。安定的で持続可能な事業運営とは何か、この機会に考えていきたいと思います。

- (3) 第1回の開催日が8月16日を予定されていましたが、お盆で夏休みを計画している委員も多いと思います。開催日については、来年度以降再検討したほうがいいのではないのでしょうか。